

## (4) 中学校

### ・施設の概要

中学校は、笛吹市立学校設置条例に基づき、中学校教育を提供する場として以下の5施設を設置しています。(表2-17) 中学校教育以外にも、全ての中学校でグラウンドや体育館の一般市民への開放(学校開放)を行っています。なお、全ての中学校を避難所指定しており、防災上の重要施設としての役割を有しています。

施設名称	所管部門	代表建築年度	施設形態	設置条例	学校開放	避難所指定	避難所収容人数	備考
石和中学校	教育総務課	昭和49年度	単独	学校教育法、 笛吹市立学校設置条例			6,600人	給食棟を建替中、校舎などの建替えを平成26年度から実施する
御坂中学校	教育総務課	昭和46年度	単独	学校教育法、 笛吹市立学校設置条例			4,730人	
一宮中学校	教育総務課	昭和35年度	単独	学校教育法、 笛吹市立学校設置条例			4,660人	
浅川中学校	教育総務課	昭和46年度	単独	学校教育法、 笛吹市立学校設置条例			6,960人	
春日居中学校	教育総務課	昭和53年度	単独	学校教育法、 笛吹市立学校設置条例			2,930人	

表 2-17 中学校の一覧



浅川中学校



一宮中学校

・施設の配置状況と字別の人口分布

図 2-21 は、中学校の配置と字別の人口密度を表しています。

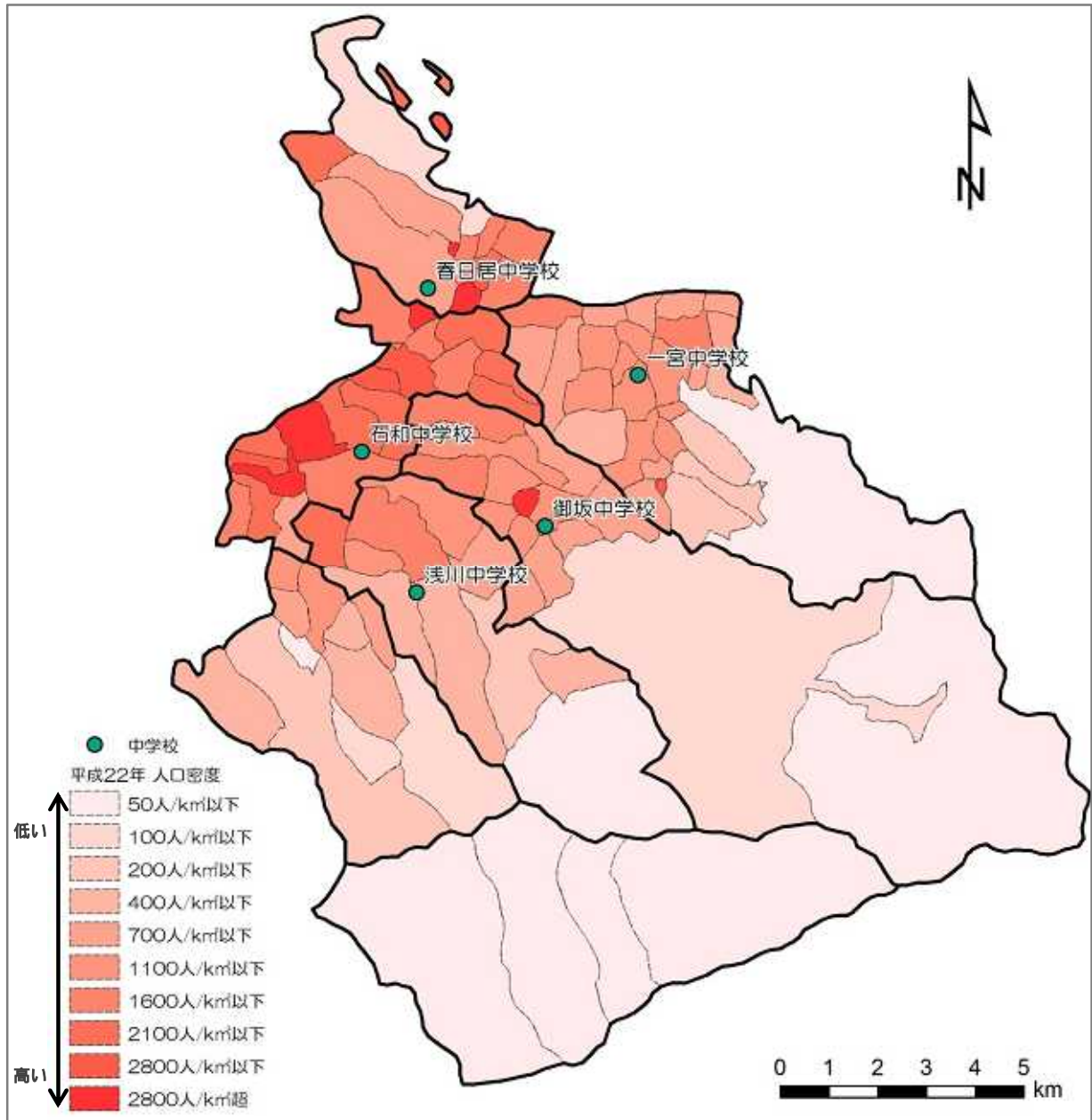


図 2-21 中学校の配置と人口分布（人口密度）

・ 建物の現状（品質）

中学校は、5施設 39 棟の建物で構成されています。（表 2-18）

躯体性能は、老朽化率が平均 79.7%、鉄筋コンクリート造の建物が 39 棟中 26 棟を占めており、全ての建物が文部科学省耐震化推進指針を満たしています。中学校は、老朽化した建物が多いものの、近年の耐震改修や大規模改修事業によって、耐震性を有する建物の割合や大規模改修の実施率が高くなっています。

個別の項目は、御坂中学校は老朽化率 91.7%と老朽化が最も進行しています。なお、全ての建物が耐震性を有しています。

設備の設置状況は、太陽光発電設備が全ての中学校に設置されています。また、平成 23 年度には学校施設環境改善交付金を活用し、4 校の普通教室に空調設備を設置しました。

施設名称	建物棟数	延床面積		老朽化率	躯体性能			耐震性有	大規模改修有	設備性能			建物性能
		施設全体	築30年経過		鉄筋	鉄骨	木造			福祉有	節電有	節水有	
石和中学校	9 棟	7,926.00 m <sup>2</sup>	7,926.00 m <sup>2</sup>	86.5%	3 棟	6 棟	-	9 棟	2 棟	3 棟	1 棟	-	15.8 点
御坂中学校	7 棟	6,002.00 m <sup>2</sup>	5,307.00 m <sup>2</sup>	91.7%	4 棟	3 棟	-	7 棟	4 棟	3 棟	1 棟	-	16.2 点
一宮中学校	7 棟	6,131.00 m <sup>2</sup>	3,688.00 m <sup>2</sup>	62.3%	7 棟	-	-	7 棟	4 棟	1 棟	2 棟	-	18.7 点
浅川中学校	10 棟	6,639.00 m <sup>2</sup>	6,119.00 m <sup>2</sup>	90.2%	7 棟	3 棟	-	10 棟	6 棟	2 棟	1 棟	-	15.6 点
春日居中学校	6 棟	4,212.04 m <sup>2</sup>	3,590.00 m <sup>2</sup>	67.7%	5 棟	1 棟	-	6 棟	3 棟	4 棟	1 棟	-	19.2 点
合計・平均	39 棟	30,910.04 m <sup>2</sup>	26,630.00 m <sup>2</sup>	79.7%	26 棟	13 棟	-	39 棟	19 棟	13 棟	6 棟	-	17.1 点

表 2-18 中学校の建物性能

なお、中学校は校舎及び体育館、そのほかの付属建物（給食室など）から構成されています。このうち中学校の校舎は、近年の耐震改修事業 23 棟全てが耐震性を有しています。一方、大規模改修実施の目安となる築 30 年を経過した建物のうち、大規模改修を実施している建物は 16 棟となっています。（表 2-19）

施設名称	校舎棟数	校舎延床面積		老朽化率	躯体性能			耐震性有	大規模改修有	設備性能		
		合計	築30年経過		鉄筋	鉄骨	木造			福祉	節電	節水
石和中学校	5 棟	5,442.00 m <sup>2</sup>	5,442.00 m <sup>2</sup>	82.6%	3 棟	2 棟	-	5 棟	2 棟	2 棟	1 棟	-
御坂中学校	4 棟	3,962.00 m <sup>2</sup>	3,962.00 m <sup>2</sup>	91.2%	4 棟	-	-	4 棟	3 棟	3 棟	1 棟	-
一宮中学校	5 棟	3,851.00 m <sup>2</sup>	3,688.00 m <sup>2</sup>	95.8%	5 棟	-	-	5 棟	4 棟	-	2 棟	-
浅川中学校	6 棟	4,267.00 m <sup>2</sup>	4,267.00 m <sup>2</sup>	90.1%	5 棟	1 棟	-	6 棟	5 棟	-	1 棟	-
春日居中学校	3 棟	2,284.00 m <sup>2</sup>	2,149.00 m <sup>2</sup>	71.3%	3 棟	-	-	3 棟	2 棟	2 棟	-	-
合計・平均	23 棟	19,806.00 m <sup>2</sup>	19,508.00 m <sup>2</sup>	86.2%	20 棟	3 棟	-	23 棟	16 棟	7 棟	5 棟	-

表 2-19 中学校校舎の建物性能

中学校の建物全体の築年数別の傾向は、築 30 年を経過し築 40 年以内の建物の延床面積が 14,542.00 m<sup>2</sup> (47.0%)、築 40 年を超える建物の延床面積が 12,088.00 m<sup>2</sup> (39.1%) となっています。大規模改修が必要とされる目安の築 30 年を経過した建物の延床面積は 26,630.00 m<sup>2</sup> (86.1%) となっており、全 17 用途中で最も老朽化が進行しています。（47 ページ 図 2-22）

耐震化の状況は、4,914.04 m<sup>2</sup> (15.9%) が新耐震基準となっており、耐震改修事業を推進してきた結果、旧耐震基準のうち全てが耐震済となっており、建物の延床面積で 17 用途中最も耐震改修の実施率が高くなっています。(図 2-23)

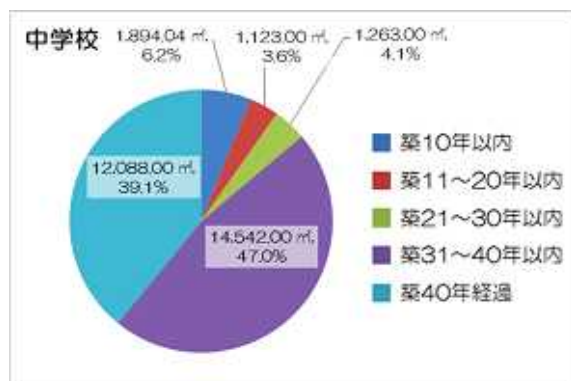


図 2-22 建物の築年数別の割合

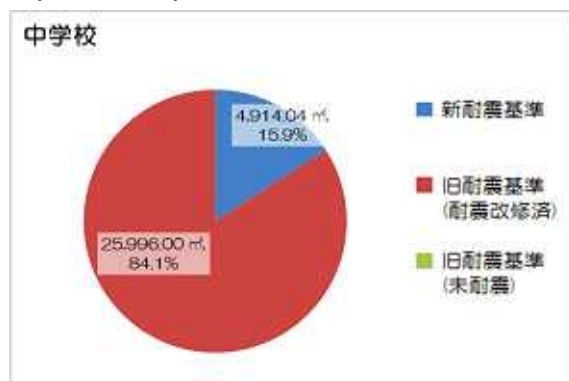


図 2-23 耐震化の状況

中学校の建物性能点は、用途内平均が 17.1 点と全用途平均の 16.4 点とほぼ同等の水準となっています。(図 2-24)

個別施設の特徴と点数の関係では、春日居中学校は主要な校舎の建築年度が昭和 53 年度と築 30 年以上経過しているものの、柔剣道場を平成 23 年度に建築しており老朽化率が 67.7%、建物性能点が 19.2 点と同一用途 5 施設の中で最も高くなっています。また、一宮中学校は主要な校舎の建築年度が昭和 34 年度から昭和 36 年度と耐用年数を経過しているものの、平成 10 年度に体育館、平成 23 年度に技術室や職員棟を整備したことから建物性能点が 18.7 点と 5 施設中 2 番目に高くなっています。

一方、浅川中学校は老朽化率が 90.1%と高く、全ての建物が築 30 年を経過していることから建物性能点が 15.6 点と 5 施設の中で最も低くなっています。

なお、石和中学校は全ての建物が築 30 年を経過していますが、給食棟と北校舎の建替えを平成 25 年度から実施します。また、御坂中学校は老朽化率が 90%以上となっているため、建物性能点が 16.2 点と低くなっています。

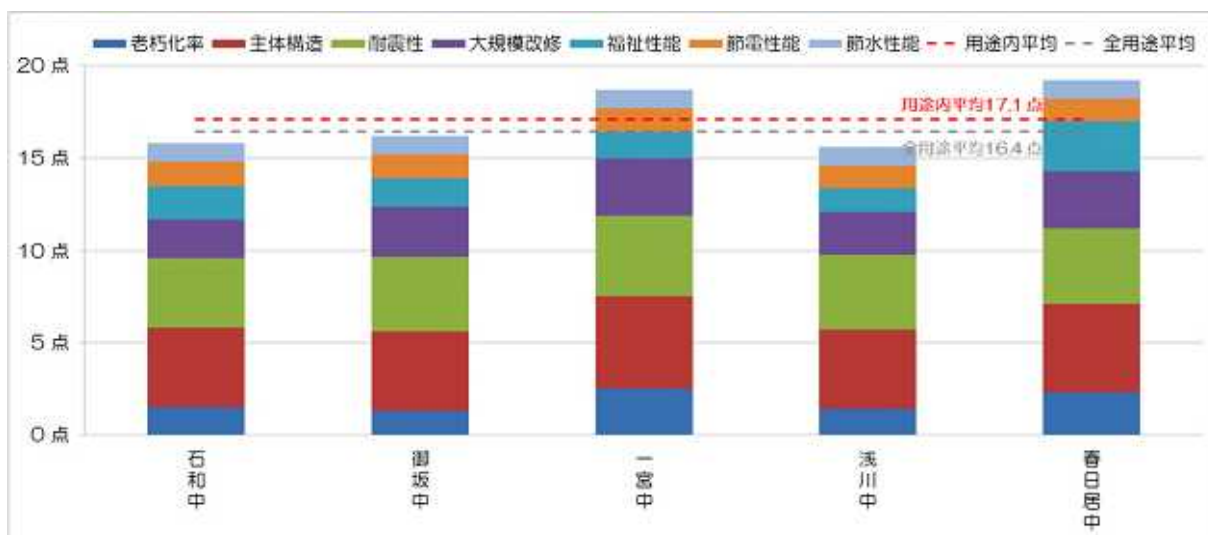


図 2-24 中学校の建物性能比較

・維持管理コストの現状（財務）

中学校全体の維持管理コストは、74,361千円となっています。面積当たり維持管理コストは平均2.4千円/m<sup>2</sup>、生徒一人当たり維持管理コストは平均35.0千円/人となっています。そのほかに、支出を伴わない減価償却相当額が62,119千円/年あります。(表2-20)

施設名称	延床面積	平均生徒数	維持管理コスト	収入	減価償却相当額	面積当たり維持管理コスト	生徒一人当たり維持管理コスト
石和中学校	7,926.00 m <sup>2</sup>	749人	21,074千円	-	14,917千円	2.7千円	28.1千円
御坂中学校	6,002.00 m <sup>2</sup>	381人	13,036千円	-	13,638千円	2.2千円	34.2千円
一宮中学校	6,131.00 m <sup>2</sup>	351人	14,032千円	-	6,103千円	2.3千円	40.0千円
浅川中学校	6,639.00 m <sup>2</sup>	443人	15,006千円	-	13,765千円	2.3千円	33.9千円
春日居中学校	4,212.04 m <sup>2</sup>	203人	11,213千円	-	13,696千円	2.7千円	55.2千円
合計	30,910.04 m <sup>2</sup>	2,127人	74,361千円	-	62,119千円	-	-
平均	6,182.01 m <sup>2</sup>	425人	14,872千円	-	12,424千円	2.4千円	35.0千円

表 2-20 中学校のコスト情報

図 2-25 は中学校の面積当たり維持管理コスト（左）と生徒一人当たり維持管理コスト（右）を比較したグラフです。

面積当たりの平均2.4千円/m<sup>2</sup>と比較すると、石和中学校（2.7千円/m<sup>2</sup>）と春日居中学校（2.7千円/m<sup>2</sup>）が最も高く、御坂中学校（2.2千円/m<sup>2</sup>）が最も低くなっています。

生徒一人当たりの平均35.0千円/人と比較すると、春日居中学校（55.2千円/人）が最も高く、石和中学校（28.1千円/人）が最も低くなっています。

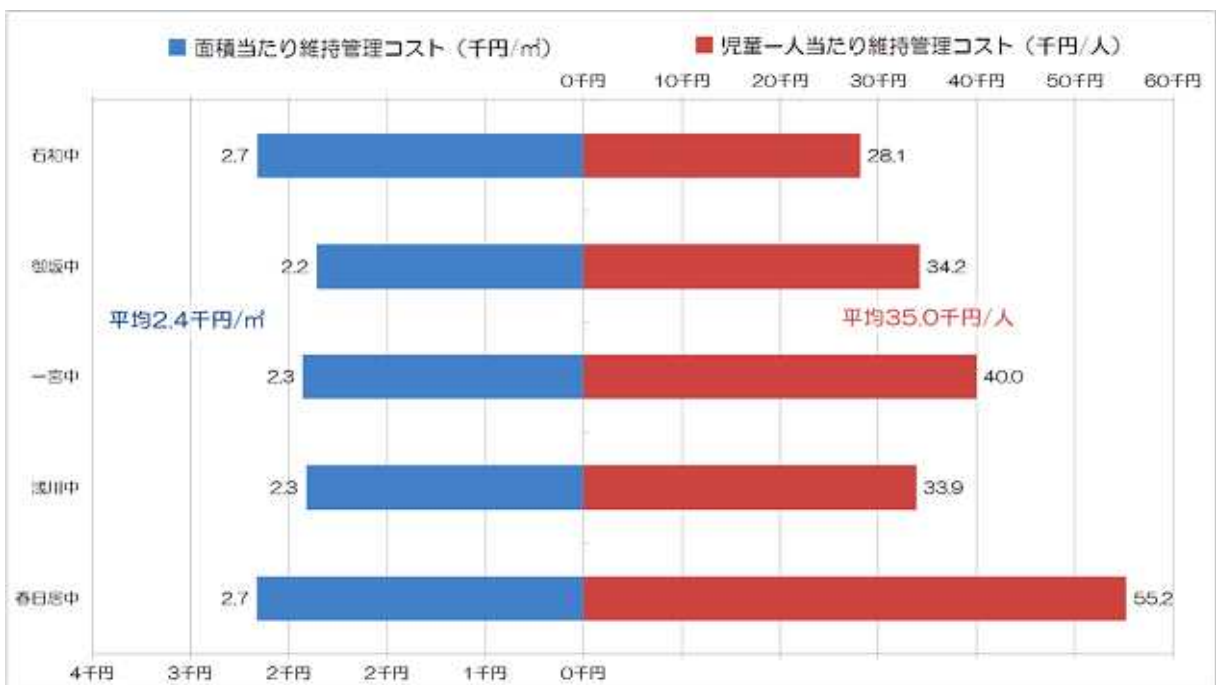


図 2-25 中学校のコスト比較

・稼働、利用の現状（供給）

中学校の平成 22 年度から平成 24 年度までの生徒数<sup>(注)30</sup>は、全体では 2,149 人から 2,097 人と 52 人 (-2.4%) 減少していますが、石和中学校、一宮中学校は微増傾向となっています。(表 2-21)

なお、公立学校施設実態調査による生徒一人当たりの校舎延床面積<sup>(注)31</sup>(全国平均 15.01 m<sup>2</sup>/人)と比較すると、中学校全体の生徒一人当たり延床面積は平均 9.31 m<sup>2</sup>と 62.0% となっています。

施設名称	稼働・利用の比較指標	生徒数	生徒数	生徒数	校舎延床面積	平均生徒数	一人当たり延床面積
		H22	H23	H24	(A)	(B)	(A)÷(B)
石和中学校	生徒一人当たり校舎延床面積	744人	755人	748人	5,442.00m <sup>2</sup>	749人	7.27m <sup>2</sup> /人
御坂中学校	生徒一人当たり校舎延床面積	403人	382人	359人	3,962.00m <sup>2</sup>	381人	10.40m <sup>2</sup> /人
一宮中学校	生徒一人当たり校舎延床面積	339人	356人	358人	3,851.00m <sup>2</sup>	351人	10.97m <sup>2</sup> /人
浅川中学校	生徒一人当たり校舎延床面積	459人	437人	434人	4,267.00m <sup>2</sup>	443人	9.63m <sup>2</sup> /人
春日居中学校	生徒一人当たり校舎延床面積	204人	208人	198人	2,284.00m <sup>2</sup>	203人	11.25m <sup>2</sup> /人
合計		2,149人	2,138人	2,097人	19,806.00m <sup>2</sup>	2,127人	-
平均		430人	428人	419人	3,961.20m <sup>2</sup>	425人	9.31m <sup>2</sup> /人

表 2-21 中学校の供給情報

中学校については、スペースの利用度の有無を把握するため「生徒一人当たりの校舎延床面積」を指標として比較を行いました。(図 2-26)

中学校全体の平均(9.31 m<sup>2</sup>/人)と比較すると、石和中学校では平均より少ない 7.27 m<sup>2</sup>/人、春日居中学校では 11.25 m<sup>2</sup>/人と平均より多く偏りがあります。

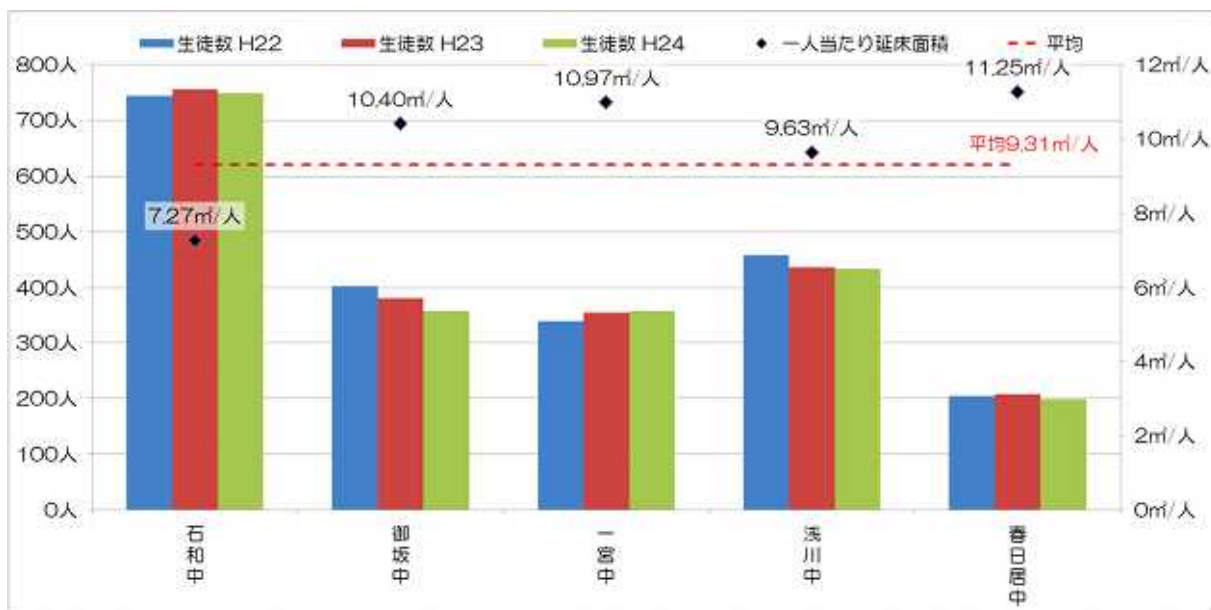


図 2-26 中学校生徒数と一人当たり校舎延床面積の比較

(注)30 各年の 5 月 1 日時点の生徒数

(注)31 「公立学校施設実態調査」(平成 24 年度)の「小中学校校舎等の 1 校・1 学級・1 人当たり保有面積等」より

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001047676&cycode=0>